

## 「キャリア教育実践事例」

横浜平沼高等学校 一柳 浩一  
横浜緑園高等学校 小島 昭彦  
海老名高等学校 北澤 健

城郷高校高等学校 柴田 晴美  
三浦初声高等学校 玉村 和彦  
伊勢原高等学校 高木 伸

令和5年度キャリア教育部会の研究グループでは、この研究報告を見た方に参考になるよう、各校で実施しているキャリア教育に関する実践事例を公開し、検討することとした。記載形式としては、各校の実践事例の要項とその参考資料を配置している。紹介している実践事例は①横浜平沼高校：大学模擬授業、②城郷高校：社会人による進路選択体験談を聞く、③藤沢清流高校（横浜緑園小島が昨年度まで勤務しており、許可を得て紹介）：「21世紀型リーダーシップ」に基づく教育実践、④三浦初声高校：校外型分野別分科会、⑤受験意識の向上（模試の事前事後指導、進路ガイダンス、面談）、⑥伊勢原高校：インクルーシブ教育実践推進校における社会体験である。

内容に目を移すと、各校とも生徒の意識啓発に力を注いでいることが見て取れる。横浜平沼・海老名ではほとんどの生徒が大学に進学する関係から大学に関する知見を広げる取り組みや、模試や予備校講師を利用した取り組みを行っている。海老名の成果および課題にある一般選抜で受験する生徒が増加しているというのは、推薦での入学が多くなっている昨今において、学力と挑戦心を向上させていると感じる反面、教員への負担が大きいという面での兼ね合いが難しい事例である。藤沢清流・城郷では社会人からの逆算でキャリア教育を行っている。藤沢清流ではリーダーシップ教育をテーマとし、外部業者と連携し、学校目線からだけでなく、社会目線からのリーダーシップ観を生徒にもたせる取り組みであり、SDGsの視点を生徒にもたせる点も生徒が将来を考える一助となっている。城郷取り組みは実際に働いている社会人の話を順繰りに聞くことができる形であり、どんな職業に就くか、働くことの魅力は何かということをより真剣に考える機会を生徒に与

える企画である。三浦初声では、校外の体育館・会議室・研修室を借りきった形で様々な進路の情報を得られる総合的な進路行事に取り組んでいる。学校紹介、業界紹介、公務員対策、一般常識講座など多岐にわたるブースがあり、生徒個人が自分に必要な話を聞くチャンスとなっている。具体的な進路決定に繋がっているのも納得である。伊勢原はインクルーシブ教育実践推進校として行っている社会体験の事例について紹介した。特別支援学校で力を入れている実習は生徒の能力を伸ばし、進路を決定するために重要な取り組みである。他校で実習を行っている所もあるが、伊勢原では実習の時間が取れないため、夏季休業中などに行うインターンシップや仕事のまなび場などへの参加が重要である。歴史の浅いインクルーシブ教育実践推進校でのキャリア教育の例として紹介した。

コロナウイルスにより社会全体が停滞した時を抜け、様々な活動が再開されるようになった。しかしそれとともに、AIの進化や、経済の長い不況、値上げ問題、価値観の変遷、少子高齢化による人手不足と生徒の進路に大きな影響をもたらす時代の流れが、大きくかつとても速いスピードで起きている。今年度の就職ではこれまでよりも好条件の求人が多数高校に寄せられ、高校を卒業してすぐに就職する生徒の手を、社会が必要としている実情を実感している。この流れは今後も加速し、上級学校への進学などにも大きな影響を及ぼすようになると考えられる。教育課程の新カリキュラムへの移行もあり、これからの進路支援では時代に合わせた柔軟かつ素早い対応が求められるに違いない。今回の報告をその対応や活動に生かしていただければ幸いである。

（文：高木 伸）

## 実践事例

学校名・氏名	横浜平沼高等学校 一柳 浩一
事例名	大学模擬授業
実施日時	6月29日(木)
対象学年	2学年
実施形態	16分野から2分野を選択し、受講する。(55分×2)
外部団体・依頼内容	(株)さんぽう

事前指導	大学の講義を体感し、各学問分野での学びや研究内容を具体的に知ることで、進路に対する意識を高める。そのために、1年時より興味ある学問を研究させてきた。今回、事前に希望する学問分野のアンケートを取り、依頼する学問分野を決定した
当日の流れ	<p>11:45 さんぽう来校 大会議室へ案内(学年進路対応)</p> <p>12:00 順次機材の設置</p> <p>13:15 講師集合(大会議室)、管理職あいさつ</p> <p>13:35 各教室に生徒移動</p> <p>13:45 1回目開始</p> <p>14:40 1回目終了、2回目の教室へ移動</p> <p>14:50 2回目開始</p> <p>15:45 2回目終了 各HR教室に戻りHR</p>
事後指導・生徒の声など	会場で講師より「大学模擬授業ワークシート」を一人ずつ受け取る。そこに講演を聞きながら記入し、SHRでロイロノートにて担任へ提出。

成果及び課題等	生徒には概ね好評であり、9月の3年科目選択の参考になっている。
留意事項等	今回は、学問分野の概論の講演であり、各大学の学部学科紹介にならないよう依頼している。10月には、大学説明会を実施。こちらは、各大学の特徴を紹介する。

## 実践事例

学校名・氏名	神奈川県立城郷高等学校 ・ 柴田 晴美
事例名	社会人による進路選択体験談を聞く
実施日時	令和5年6月27日（火） 5・6時間目
対象学年	2学年
実施形態	各クラスで話を聞く ※講師が教室を移動し、同じ内容の話を3回話す。
外部団体・ 依頼内容	株式会社 TAP

事前指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路選択に向けて学年の進路ガイダンスで内容の説明</li> <li>・「講師一覧」の情報をレジメにまとめ配付</li> </ul>
当日の流れ	<p>13:10 講師集合          13:10 業者より本日の流れ等の説明          13:30 講師、会場（教室）移動          13:40 講演開始          講話①、講話②、（休憩10分）講話③、講話は各20分          15:00 講話終了（講師：控室→解散、業者対応）          15:00～15:25 各教室で振り返り（ワークシートの記入）          （リクルートのサプリア導入でポートフォリオ保管）          15:30 SHR</p>
事後指導・ 生徒の声など	<p>◎自分の進路選択へのヒントを得るものとなるように考えをまとめるよう指導を促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校種「大学・短大・専門学校」</li> <li>・なぜその「入試方式」を選択したのか</li> <li>・その学問を学ぶ・仕事に就くうえで、どのような選択肢があるのか</li> </ul> <p>※別紙、生徒のワークシート参照。</p>

成果及び 課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路選択の導きの一つになったと考える。</li> <li>・必ずしも自分の希望する講師とはならないことで、進路選択の幅を広げることにつながったのではないかと考える一方で、興味のない話を聞くのはしんどい生徒もいたかもしれない。</li> <li>・課題、講師全体の話が聴講できるシステムづくりの構築。</li> </ul>
留意事項等	特になし

キャリア支援グループ  
2年生 職業理解「社会人講話」について

1. 目的： 社会人の方が高校時代にどのような進路選択をして今に至るまでの話を聞き、進路について考えるきっかけとする。

2. 日時： 令和5年6月27日(火) 5・6校時 (総合的な探究の時間)

3. 対象： 2年生 257名

4. 内容： 民間企業で働いている方から高校時代の進路選択体験談を聞く。

5. 業者： 株式会社TAP

6. 使用教室： 2年各ホームルーム、 ※会議室を講師控室として使用予定

7. 当日の流れ： 13時10分～ 講師来校・控室(会議室)にて挨拶

13時40分～ 講話①

14時05分～ 講話②

14時25分～ 10分休憩

14時35分～ 講話③

14時55分～ 教室にてまとめ

15時00分～ SHR

15時30分～

8. 当日のローテーション：

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組
講話①	4	3	2	7	1	6	5
講話②	7	6	3	4	5	2	1
講話③	5	2	4	3	7	1	6

9. 講師一覧

所属先会社名・業種	最終学歴	入試方式	その他
1 株式会社田中ビュー美容 KINGDOM で topstylist	東京 MAX 美容専門学校	AO	女性 城郷高校出身一般入試 色々な美容専門学校のオープンキャンパスに行っていました！美容専門学校のオープンキャンパスは、パレットとかシャンプーとか色々もらえたりするのでたくさん行くのがオススメです。
2 独立行政法人国際協力機構 JICA 青年海外協力隊 (インドネシア派遣 陸上競技隊員)	日本ウェルネススポーツ専門学校	スポーツ特待入学	男性 高校時代は特に将来の夢ややりたい事がなかったが、専門学校での出来事をきっかけにグローバルに目覚め、「自分の可能性を広げたい」「自分の知らない世界を知りたい」と思い、語学習得や海外での活動経験をした。
3 株式会社ビズリーチ (副業で、SHE 株式会社にも所属)	専修大学 人間科学部 心理学科	一般入試	26歳女性。転職経験あり。副業歴2年半。 高校が神奈川県立多摩高校という偏差値が高めの高校でしたので、その中では大学受験を失敗したタイプですが、学生団体やインターンなどに注力したことで、学歴に変わる経験値を得られたことで就活は苦戦しなかったです。
4 旭化成ホームズ株式会社 ハウスマーカー	上智大学 法学部 法律学科	公募推薦	20代男性
5 合同会社 Absolute マーケティング	大阪教育大学	一般入試	30代女性 海外勤務経験あり
6 株式会社タップ 営業アシスタント	甲南大学 経営学部	一般入試	20代女性 新卒で ANA 客室乗務員→転職
7 城郷高校職員		一般入試	



### 社会人講話ワークシート

○ 目標：様々な業種で働いている社会人の方々から高校時代にどのような進路選択をして今に至るのかという話を聞き、進路選択について考えましょう。

1. 3つの講話を聞いて、以下の点を中心にメモを取りましょう。
- ・なぜ大学 or 短大 or 専門を選んだのか？
  - ・なぜその入試方式を選んだか？
  - ・その学問を学ぶ・仕事に就くうえで、どのような選択肢があるのか？

講話① 会社名・業種：[ トゥモローランド <sup>アパレル販売</sup> ] 最終学歴：[ 大学・短大・専門 ] ([ 国際文化交流 ] 学部) 入試方式：[ 一般・公募・総合型(AO)・特別推薦 ] <sup>英語コミュ=17-300学科</sup>
<sup>2つにいいから逆算</sup> <sup>行きたい学部があるか</sup> <sup>CA 塾講師</sup> <sup>海外営業</sup> <sup>基本的には生活レベルに合わせる</sup> <sup>問題解決能力</sup>
講話② 会社名・業種：[ 株式会社 <sup>営業課</sup> ] 最終学歴：[ 大学・短大・専門 ] ([ 立智大学 法学部 ] 学部) 入試方式：[ 一般・公募・総合型(AO)・特別推薦 ] <sup>法律学科</sup>
<sup>内申点、資格、小論文、面接</sup> <sup>進路とキャリアは必ずしも一致しない</sup> <sup>予めはいることから始める</sup>
講話③ 会社名・業種：[ <sup>バスリーマン</sup> ] 最終学歴：[ 大学・短大・専門 ] ([ 専修大学 人間科学部 ] 学部) 入試方式：[ 一般・公募・総合型(AO)・特別推薦 ] <sup>英語</sup>
<sup>人に話してみよう</sup> <sup>いろいろ話す</sup> <sup>センター</sup> <sup>→ やってみよう</sup> <sup>くりかえす</sup>

2. 3つの講話を聞いて、進路選択に関して考えたことを書きましょう。

やりたかったけどいい場合いろいろ人に話してみる。そしてセンターから、とあえてやってみようかと思った。  
 進路とキャリアが違う人の方がいいかと思った。  
 だから自分の興味があることからはじめていきたくて思った。

## 実践事例

学校名・氏名	横浜緑園高等学校 小島昭彦
事例名	藤沢清流高等学校における「21世紀型リーダーシップ」に基づく教育実践（「1・2年次生向けリーダーシップ研修」）
実施日時	2022年12月6日（火）9:00-12:50
対象学年	1・2年次
実施形態	体育館で一斉実施→教室に分かれて、ポスター発表実施、チーム振り返り・個人振り返り
外部団体・依頼内容	株式会社イノベスト（研修の企画・設計、当日の進行）

事前指導	①SDGsの17の目標について知り、興味・関心が高い順に3つ選ばせる。②生徒の回答を見ながら「SDGs 17の目標」別に振り分け、全体（約560名）を109のグループに分けておく。（グループ分けは、できるだけ年次・クラス・性別が散らばるように配慮。）
当日の流れ	①体育館には109のグループに模造紙、カラーペン、ワークシートを配付し、生徒は入場したら自分のグループの位置に着席する。★後半は教室に戻るので、その教室にはモニター、PC、付箋、養生テープ等を用意。②その後の流れは「設計シート」（別表）の通り。
事後指導・生徒の声など	○ポスター発表では、生徒が同じ内容を発表する機会を複数回持てたことで、自身のプレゼンテーション技術も向上し、併せて発表内容もより充実したものになったとの声が多くあがった。 ○付箋を使っのフィードバックは、SBI（Situation-Behavior-Impact）を具体的に記すやり方だったので、フィードバックを受けた側も自身の振り返りがしやすく、リーダーシップ発揮のための行動改善がしやすかったと好評であった。また、その後の授業でのグループワーク、学校行事、部活動等、様々な場面の振り返りでSBIフィードバックを有効活用したいとの声も多かった。

成果及び課題等	○当日のまとめでも伝えられた「不満を苦情として伝えるのは消費者、不満を提案に変えるのがリーダーシップ」が一番の肝かもしれない。権限によらないリーダーシップを学ぶことで、チームに所属する全員が互いに影響力を与えるリーダーシップの感覚を、実際の行動を通して確認できたことは大きかった。○教職員が21世紀型リーダーシップの概念を理解し、日頃の教育活動の中で、積極的に生徒に体験させる機会をどれだけつくっていかれるかということがカギとなる。
留意事項等	業者（株式会社イノベスト）との連絡を密に行うこと。イノベストは、これまで全国の大学・高等学校等でのリーダーシップ教育に関する様々な取組を展開してきており、企業とのネットワークもしっかりしている、信頼のおける企業である。今回の研修の実施にあたっては、本校の強みや課題、生徒の特徴等について、できるだけ多く情報共有しておくこと、より効果的な企画を提供していただくことが期待できる。



## 2022年度 藤沢清流高等学校 1-2年次生向けリーダーシップ研修

日時	2022年12月6日(火) 9:00-12:50					
ゴール	① SDGs17目標の中で自分が関心のある目標を達成するために、どのような活動をできるのか「自分ごと」で問題を捉えている状態 ② ①を通じて、普段の生活において不満を苦情として伝えるのではなく、不満を提案に変える姿勢を身につけた状態					
備品	①模造紙110枚(体育館にて各グループ1枚)、②カラーペン110セット(体育館にて各グループ1セット)、③ワークシート550枚(A3サイズ)、④付箋(75*75mm、2200枚)、⑤テープ(各教室にポスターを貼るために使用)					
番号	開始時間	終了時間	所要時間	項目	実施内容	担任教員の動き
—	8:45	9:00	0:15	教室設営	・直前準備(15分): 機材調整・備品配置など	・グループ指定の場所に備品①②③を設置(備品④⑤は教室) ・1-2年次全教室には何も荷物を残さないよう(=すべてロッカーに保管、または体育館へ持参するよう)指示
1	9:00	9:25	0:25	チェクイン	・集合(10分): 事前に振り分けたグループごとに指定の位置で集まる ・講師自己紹介(5分): 全体進行の講師が自己紹介 ・チーム内自己紹介(10分): チーム内の関係性向上のため、自己開示の場を設ける	・生徒の誘導
2	9:25	9:35	0:10	リーダーシップ理論	・解説(10分): リーダーシップを学ぶ意義を確認し、リーダーシップの定義・最小三要素を解説	・生徒の様子を観察し、必要に応じて介入
3	9:35	9:40	0:05	プロジェクトキックオフ	・説明(5分): プロジェクトテーマの設定背景と「ワーク指示書」の使い方を説明	・生徒の様子を観察し、必要に応じて介入
4	9:40	10:50	1:10	チーム活動	・ワーク前半(30分): 主に企画内容を検討する時間だが、ワーク指示書を参考にしながらグループごとに進める ・全体介入(10分): 前半の全体的な様子を共有し、ワーク後半に向けてグループごとの10分休憩を推奨 ・ワーク後半(30分): 主にポスターを作成する時間だが、ワーク指示書を参考にしながらグループごとに進める	・ワーク指示書を参照しながら各グループの進捗を確認 ・必要に応じて声かけなどの介入
—	10:50	11:00	0:10	移動(体育館→各教室)	1-2年次全員、体育館から指定された教室に移動。備品②を出入口で回収。移動できた人からポスターセッションまで休憩	・番号の大きいグループから順次移動するように生徒を誘導
5	11:00	11:35	0:35	ポスターセッション	・説明(5分): 教室内にある他グループのポスターを見てワークシートにメモをすように促す。ポスターを壁に貼る ・前半(15分): 前半の説明担当者が来客に対してポスターの説明を行う。後半組は教室内のポスターを巡回して交流 ・後半(15分): 後半の説明担当者が来客に対してポスターの説明を行う。前半組は教室内のポスターを巡回して交流	・担当教室でポスターセッションの実施を監督 ・生徒が他グループのポスターを見に行くように促進 ・ポスターの參觀者に偏りがある場合、適宜人数を調整
—	11:35	11:45	0:10	休憩	ポスターを掲示している教室でグループごとに休憩	・生徒が3年次に配慮した休憩を取るよう指導演 ・動画「KPT法」を再生させる( ClassroomにURL) ・ワークの実施を促す
6	11:45	12:05	0:20	チーム振り返り	・説明(5分): 振り返り技法のKPT法について、動画再生を通じて説明 ・検討(15分): K(継続)・P(改善)・T(挑戦)の各項目を5分ずつ検討して、学びを言語化する	・動画「SBIフィードバック」を再生させる( ClassroomにURL) ・ワークの実施を促す
7	12:05	12:45	0:40	個人振り返り	・説明(10分): フィードバックの意義・送り方・形式について、動画再生を通じて説明 ・検討(5分): チーム全員分のフィードバックを検討 ・送り合い(25分): (告白30秒+フィードバック4分+感想30秒)×5人	・動画「チェクアウト」を再生させる( ClassroomにURL) ・ワークシートとポスターを回収
8	12:45	12:50	0:05	チェクアウト	・総括(5分): 「不満を苦情として伝えるのは消費者、不満を提案に変えるのがリーダーシップ」	

## 実践事例

学校名・氏名	三浦初声高等学校 玉村 和彦
事例名	校外型分野別分科会
実施日時	令和5年4月28日(金) 6・7校時 [15:00～16:50/30分×3回]
対象学年	卒業年次(3・4年次生対象)
実施形態	<p>○事前アンケートによる希望調査を行い、集計結果によって出展ブース(51講座:別紙参照)を決定。</p> <p>○各自2つの講座に参加。三回目は希望者のみ参加とした。</p> <p>○会場として、本校より100メートルほど離れた潮風アリーナ(三浦市総合体育館)のメインアリーナ・会議室・研修室を借り切って、多くの講座を一斉展開した。</p> <p>○本校はダブルキャンパス(普通科:入江・都市農業科:和田)制であるため都市農業科の生徒の異動に時間がかかるので、マイクロバスでの移動をお願いしている。</p> <p>○主な分野としては次の8コースである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①大学、短大、専門学校 学校紹介ブース</li> <li>②高卒採用企業 業界紹介ブース</li> <li>③公務員受験対策講座</li> <li>④ビジネスマナー講座</li> <li>⑤社会人一般常識講座</li> <li>⑥面接対策講座・・・進学と就職に分けて実施</li> <li>⑦志望理由書対策講座</li> <li>⑧一般入試対策講座</li> </ol>
外部団体・依頼内容	<p>株式会社 ライセンスアカデミー</p> <p>○希望者が少数であっても招聘すること。就職希望者に寄り添った講座の開設をすること。</p>
事前指導	<p>○事前アンケートにより各自の参加する講座及びブースの場所の確認。</p> <p>○潮風アリーナへの移動について注意等の指示。</p> <p>○外部の人たちとの接触なので、服装等を整えること。</p> <p>○ワークシートは帰るときにフロア出口でクラスごとに箱に提出すること。</p> <p>○3ターン目は自由参加。突然出ることも可。</p>
当日の流れ	<p>○5校時日の終了後、各自で会場へ移動。</p> <p>○希望講座への出席(30分×2回)。</p> <p>○参加後のワークシート(別紙参照)への記入及び退出時の提出。 (なお、会場図(別紙参照)及びワークシートは事前に配付済みである)</p>
事後指導・生徒の声など	<p>○各自の進路に向けて、行動するように指導した。</p> <p>○各講座とも少人数での説明で、各学校の具体的な内容等への理解度が上がった。また、就職及び進学の面接対策講座では面接時の具体的な注意点など重要なポイントを理解できた。</p>
成果及び課題等	<p>○具体的な進路決定に繋がった。また、自分が希望する進路分野において、他校の情報を得られるよい機会となり比較検討する重要性に気付くことに繋がった。</p> <p>○進路未定者においては、友人と共にする行動が優先され、自分の希望する進路に直結できないことが目についた。指導者側としても事前指導の大切さを感じる機会である。</p>
留意事項等	特になし

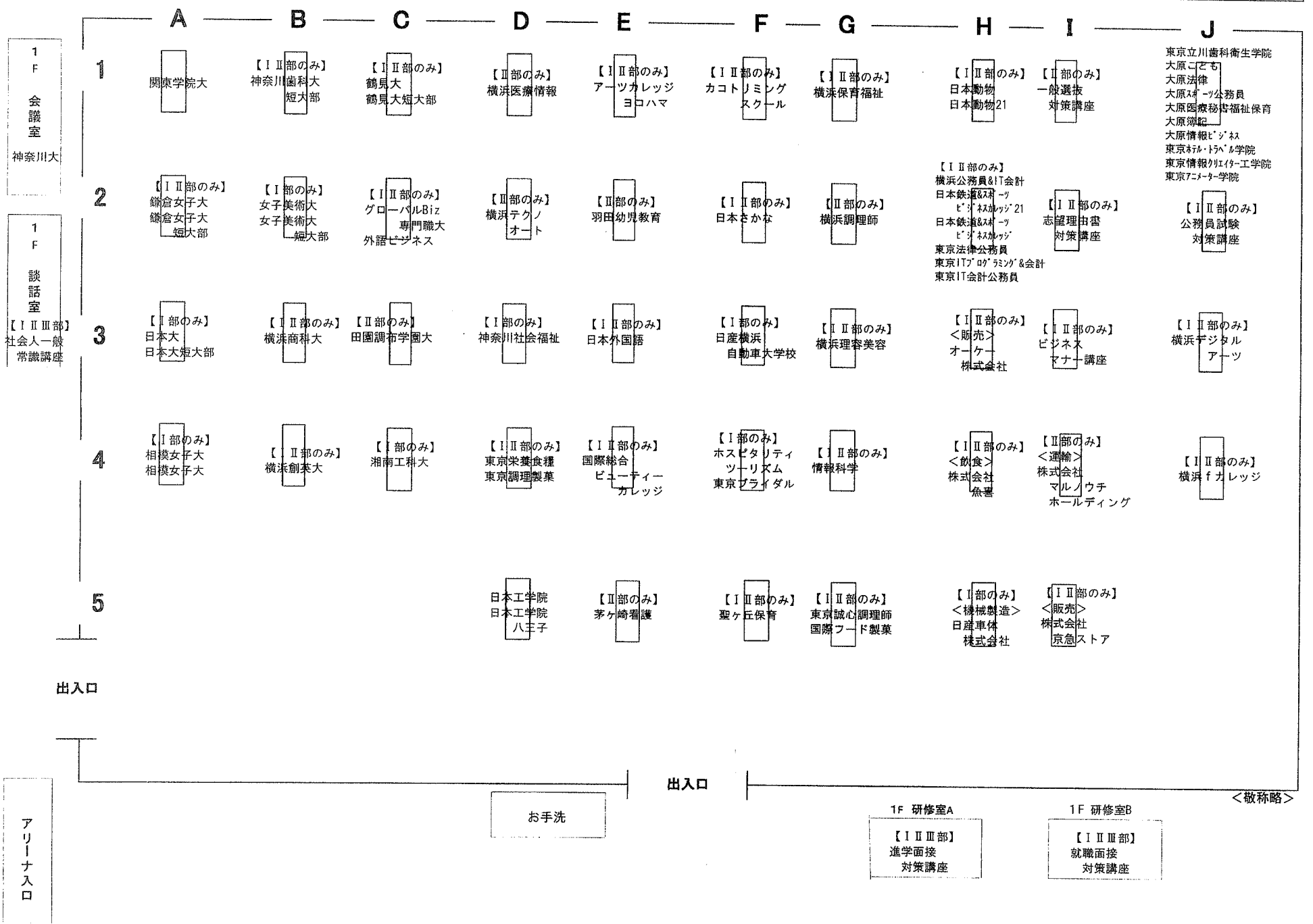


2023年4月28日(金) 三浦初声高校 3学年 進路ガイダンス 講座一覧

◆Ⅰ部 15:00~15:30 / Ⅱ部 15:40~16:10 / Ⅲ部 16:20~16:50

No	講座名	Ⅰ部	Ⅱ部	Ⅲ部
1	神奈川大学	12	10	3
2	鎌倉女子大学/鎌倉女子大学短期大学部	4	2	
3	関東学院大学	6	6	2
4	相模女子大学/相模女子大学短期大学部	1		
5	湘南工科大学	2		
6	女子美術大学/女子美術大学短期大学部	1		
8	鶴見大学/鶴見大学短期大学部	3	2	
9	田園調布学園大学		2	
10	日本大学/日本大学短期大学部	6		
11	横浜商科大学	1	1	
12	横浜創英大学	2	1	
14	神奈川歯科大学短期大学部	2	1	
15	東京栄養食糧専門学校/東京調理製菓専門学校	2	3	
16	東京誠心調理師専門学校/国際フード製菓専門学校	4	3	
18	横浜調理師専門学校		1	
19	横浜 f カレッジ	10	7	
20	グローバル Biz 専門職大学/外語ビジネス専門学校	1	1	
21	日本外国語専門学校	3	2	
22	ホスピタリティ ツーリズム専門学校/東京プライダル専門学校	2		
23	大原学園	8	8	4
24	立志舎	1	1	
25	日本工学院専門学校/日本工学院八王子専門学校	4	6	1
26	専門学校日産横浜自動車大学校	1		
27	横浜テクノオート専門学校		1	
28	アーツカレッジ ヨコハマ	2	3	
29	情報科学専門学校	3	4	
30	横浜医療情報専門学校		2	
31	横浜デジタルアーツ専門学校	4	7	
32	国際総合ビューティーカレッジ	3	2	
33	横浜理容美容専門学校	3	3	
34	茅ヶ崎看護専門学校		2	
35	神奈川社会福祉専門学校	1		
36	羽田幼児教育専門学校		2	
37	聖ヶ丘保育専門学校	2	4	
38	横浜保育福祉専門学校	5	6	
39	カトリックミッシングスクール	3	4	
40	日本さかな専門学校	2	2	
41	日本動物専門学校/専門学校日本動物 21	3	3	
42	日産車体株式会社	3		
44	株式会社マルノウチホールディング		2	
45	オーケー株式会社	2	2	
46	株式会社京急ストア	3	2	
47	株式会社魚喜	1	1	
48	公務員試験対策講座	3	2	
49	ビジネスマナー講座	4	4	
50	社会人一般常識講座	4	8	3
51	進学面接対策講座	3	6	3
52	就職面接対策講座	12	10	3
53	志望理由書対策講座	2	2	
54	一般選抜対策講座		3	

2023年4月28日(金) 神奈川県 県立 三浦初声高等学校 3学年 進路ガイダンス レイアウト



4月28日(金) 三浦初声高等学校 3学年 進路ガイダンス コーケシート

3 年 組 番 氏名

※氏名は各自記入

＜1時間目＞

学校・企業・講座名

●X7E

●感想

＜2時間目＞

学校・企業・講座名

●X7E

●感想

＜3時間目＞

学校・企業・講座名

●X7E

●感想

場所

### 3年次 校外型分野別分科会について

#### 1. 日時

令和5年4月28日（金）6、7校時

1ターン目：15:00～15:30

2ターン目：15:40～16:10

3ターン目：16:20～16:50（希望者制）

※各回30分

#### 2. 場所

潮風アリーナ

#### 3. 依頼する業者と講師

[業者] 株式会社 ライセンスアカデミー

[講師] 裏面に記載

#### 4. 目的

- ・志望校、志望業界を比較検討するための情報収集。
- ・入試・入社試験の対策。

#### 5. 設置講座

- ①大学、短大、専門学校 学校紹介ブース
- ②高卒採用企業 業界紹介ブース
- ③公務員受験対策講座
- ④ビジネスマナー講座
- ⑤社会人一般常識講座
- ⑥面接対策講座・・・進学と就職に分けて実施
- ⑦志望理由書対策講座
- ⑧一般入試対策講座

#### 6. その他

- ・生徒は4/10に受講したい講座のアンケート調査を実施済み。
- ・ワークシート、会場図は事前に配付済みであり、当日帰る際にフロア出口でワークシートを回収する。
- ・朝11:00の時点で欠席の生徒の出席番号をライセンスに連絡し、受講者が0名の場合には閉講する。
- ・都市農業科の生徒は14:40に貸し切りバスで和田キャンパスから移動。

## 実践事例

学校名・氏名	海老名高等学校 北澤 健
事例名	受験意識の向上 ①模試の事前事後指導 ②進路ガイダンス ③面談
実施日時	①模試の前と直後 ②不定期 ③一年間に3回
対象学年	全学年
実施形態	①教室 ②集会形式 ③各教室
外部団体・ 依頼内容	予備校講師による講演

事前指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内模試の実施前に過去問や課題を与える</li> <li>○面談シートの活用</li> </ul>
当日の流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>①模試の振り返り <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験終了後すぐに自己採点</li> <li>・振り返りシートに記入と、次回の模試に向けた目標設定</li> </ul> </li> <li>②進路ガイダンス <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館でメモを取りながら講演を聞く</li> </ul> </li> <li>③面談 <ul style="list-style-type: none"> <li>・面談シートに書かれた内容に沿って進路指導の実施</li> </ul> </li> </ul>
事後指導・ 生徒の声など	<ul style="list-style-type: none"> <li>①模試の振り返り <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回に向けて目標点数の記入</li> <li>・得点の分析を見て、自分の課題発見と理解</li> </ul> </li> <li>②進路ガイダンス <ul style="list-style-type: none"> <li>・何度も実施することにより、受験をして高みを目指す意欲の向上</li> </ul> </li> <li>③面談 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が何度も個人面談をすることで、先生との距離が縮まる</li> </ul> </li> </ul>

成果及び 課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○以前は、模試に向けて準備せずに実施していたこともあるが、事前・事後指導をすることで、学校の定期テスト並みに重要視する生徒が増えている。</li> <li>○定期的なガイダンスで、受験を進める指導を行った結果、一般選抜で受験する生徒が増加してきている。</li> <li>○個人面談は生徒の本音を聞きやすく、きめ細かな進路指導につながる。また、進路以外の課題を発見することもできる。</li> <li>○素直な生徒が多く、教員の指導次第で進学意欲の向上を図ることができ、教員の満足度も上がる。</li> <li>○これらの方策は、全体的に教員の負担が大きく課題となっている。</li> </ul>
留意事項等	特になし



自己採点の結果を受けて学習を分析し次回の模試に向けて具体的な計画をたてましょう。

2023/6/12(月)

第一志望校・受験科目		第二志望校・受験科目	
第三志望校・受験科目		第四志望校・受験科目	

①結果		総合	英語	リスニング	国語	数ⅠA	数ⅡB	社会①	社会②	理科①	理科②
	点数										
	前回の得点	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	点数の伸び	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

## ②各科目における振り返りをまとめましょう。

	達成できたこと(あなたの強み)	既習内容の間違い(あなたの弱み)	未習・理解していない分野
英語			
国語			
数学ⅠA			
数学ⅡB			
社会 ( ) ( )			
理科 ( ) ( )			

③次回目標点 9月7日 マーク	総合/	英語/100	リスニング/100	国語/	数ⅠA/100	数ⅡB/100	社会①/100	社会②/100	理科①/	理科②/

## ④次回目標達成のための具体的な手立てをたてましょう。

メンタル・生活・健康・時間管理	必ず成し遂げること
担任へ決意表明や相談したこと	組 番 名前

# 面談シート(11月) 1、2年用 2年 組 番 3年 組 番

年 組 番 氏名

(1) 高校生活の状況確認をする。楽しいことや嬉しいこと、つまらないことや不満なことを聞く。

楽しいことや嬉しいこと	つまらないことや不満なこと
-------------	---------------

(2) 学習面について授業が理解できているか。授業の進め方等、先生に対する要望があれば聞く。

--

(3) 人間関係について、クラスや部活動などについて聞く。学力の三要素にある「主体的に多様な人と協働する」ことができているのかを確認してもよい。

--

(4) 進路希望について、現時点での希望を具体的に聞く。

① 高校卒業後の進路希望は

4年制大学      短期大学      専門学校      公務員就職      民間就職      未定

その理由は

--

② 大学や専門学校など進学を選んだ場合は、今考えている受験方法を聞く。

一般選抜受験      指定校推薦受験      公募推薦受験      総合型選抜受験      その他

その理由は

--

③ 具体的な進路先（学校名等）の希望をできるだけたくさん聞く。優先順位も。

--

(5) 来年度の選択科目について、理由とともに確認する。将来の職業について聞いてもよい。

--

(6) 前期期末テストの結果を確認する。

--

(7) ベネッセ模擬試験の結果を確認する。

--

※ 定期テストや校内模試の結果については、資料やコンパス等を活用してください。

実践事例

学校名・氏名	神奈川県立 伊勢原高等学校
事例名	インクルーシブ教育実践推進校における社会体験
実施日時	夏季休業中
対象学年	1～3年
実施形態	オープンキャンパス・体験（教科：進路総合 科目：社会体験として実施）
外部団体・依頼内容	各生徒ごとに申請。もしくは希望を取りまとめ教員が申請

事前指導	夏季休業初日に該当生徒は学校に登校し、実習日誌を利用しながら実施中の注意事項などを確認する。また、生徒が体験・実習する場所はそれぞれ内容も場所も異なるため、授業担当教員以外に支援担任も中心として関わりながら日誌に必要事項を書き込み、日誌を完成させていく。
当日の流れ	<p>実施当日はそれぞれ内容が異なるため、箇条書きで例を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 仕事のまなび場事業に参加する。</li> <li>② オープンキャンパスに赴く。</li> <li>③ インターンシップ実習を体験する。</li> <li>④ 職業訓練校等の体験実習に参加する。</li> <li>⑤ 企業・事業所などの体験に参加する。</li> </ol> <p>以上のような内容を組み合わせるなどして計3日間行う。この間教員は帰着連絡の受け取り、場合によっては付き添いを行う。</p>
事後指導・生徒の声など	夏季休業終了間際に該当生徒が学校に登校し、実習先および保護者からコメントをもらっているか、振り返りを書いているかなどを確認する。また、進路総合科目を利用しながらスライドの作成を行い、報告会を行っている。生徒からは体験してわかることが増えたという声が多い。

成果及び課題等	連携事業が始まって4年となり、既卒生も誕生している。この体験が確実に生徒の視界を広げ、進路選択の一助となっているのは間違いない。課題としては、生徒によっては背伸びをしてしまい、負担を乗り越えるのに苦勞する場面もある。また、教員への負担の大きい取り組みになってしまっていることである。
留意事項等	特になし

# 実習日誌の一部と 活動写真

令和5年度

神奈川県立伊勢原高等学校

## 社会体験 実習日誌



( )年( )組

氏名:

### \*社会体験の約束\*

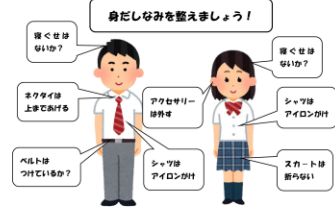
各体験先の方々には、お忙しい中貴重な時間を割いて皆さんを受け入れてくださっています。感謝の気持ちを忘れずに、伊勢原高校生として自覚と責任感を持って体験に臨みましょう。

#### \*社会体験前の準備

- ① 時間の融通しをつけるためにも時間に合わせて実習先に行く練習をし、確実に実習先へ行けるよう、準備してください。10分前には到着できるようにしておきましょう。
- ② 実習日誌は、事前に保護者に宛てて「家庭からの連絡」欄にコメント、サインをもらってください。実習中も毎日必ず日誌を覚えて、コメントとサインをもらうようにしてください。
- ③ 事前面接がある場合は、身だしなみをきちんと整えて出席しましょう。体験に行く時の服装や身だしなみにご注意ください。
- ④ 社会体験中の服装は、打ち合わせのときによく確認し、準備するものがあるときには用意しておきましょう。
- ⑤ 事前面接ももちろん、実習中は指示された時間に遅れないようにしましょう。乗り物の遅れや急病などで間に合わないと思ったときや、欠席しなければならないときは、必ず学校携帯に連絡をしてください。
- ⑥ 日誌は毎日体験先に持参し、担当の方にコメントをもらいましょう。

### \*実習生の情報\*

生徒氏名	
保護者名	
住所	
電話 (自宅)	



### \*社会体験 日誌\*

月	日	曜日
保護者サイン { }		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あてはまる項目を○でかこみます。【今日の体温: _____℃】</li> <li>①身体・健康 (健康状態) &lt;良い・悪い&gt;</li> <li>②生活のリズム (起床時刻) &lt;何時ごろ&gt; ・起床時刻 ( ) 時ごろ</li> <li>③服装は「真つた」 (少ない・ふつう・多い) ・真つでない</li> <li>④身だしなみ清潔 (○でかこみます)</li> <li>( 髪型・肌の長さ・歯磨き・洗顔・服装・ハンカチ )</li> </ul>		
今日の目標		
作業内容		
評価項目	自分の評価	実習先の評価
・身だしなみは整っていたか。	5.4・3.2・1	5.4・3.2・1
・時間を守って作業で取り組めたか。	5.4・3.2・1	5.4・3.2・1
・あいさつ、言葉、態度、相手ができたか。	5.4・3.2・1	5.4・3.2・1
・指示を良く聞いて、正解にできたか。	5.4・3.2・1	5.4・3.2・1
・態度や片付けがしっかりできたか。	5.4・3.2・1	5.4・3.2・1
・	5.4・3.2・1	5.4・3.2・1
今日の作業後、自らの反省、練習したところ、よかったところなど		
明日の作業に向けて「こうしよう」と思ったこと、明日の目標についてなど		
実習先より		

### \*社会体験に向けて①\*

体験先名				
体験先住所				
電話番号				
担当者				
体験期間	月 日 ( ) ~ 月 日 ( )			
体験時間	※休業日表			
出勤時間	実習先に書く時間			
作業内容				
持ち物	※自分で記入			
通勤経路・交通費(片道)				
自	実習先			
宅				
経路	利用交通機関	利用区間(駅・バス停・実習先)	片道の金額	定額制利用
1	自宅	~	円	
2	~	~	円	
3	~	~	円	
4	~	~	円	
合計			円	

目標の達成度・感想

【達成度】 点 / 1.0点

感想:

### \*保護者記入欄

実習を終えてみて、本人の様子はどうでしたか。

◎○△の3段階で評価してください。また、サインをお願いします。

	評価 (○をつけてください)
①生活習慣	◎ ・ ○ ・ △
②実習中の意欲	◎ ・ ○ ・ △
③輸送相ができたか	◎ ・ ○ ・ △

保護者氏名:

